

| | | | |
|------|---|----------------|---------|
| 名称等 | 山口源賞大賞新人賞受賞作品展の開催 | | |
| 実施日時 | 前期:令和3年1月23日(土)~2月7日(日) 後期:令和3年2月13日(土)~2月28日(日) | | |
| 会場 | モン ミュゼ沼津 (沼津市庄司美術館) | | |
| 担当 | 教育委員会 文化振興課 | | |
| | 直通 | (055) 934-4812 | 内線 2792 |
| 問合せ | モン ミュゼ沼津 (沼津市庄司美術館) (055) 952-8711 | | |

1 内容

モン ミュゼ沼津(沼津市庄司美術館)が企画展を開催いたします。

(1)タイトル:「山口源賞大賞新人賞受賞作品展」

(2)期 間 前期:令和3年1月23日(土)~2月7日(日)
後期:令和3年2月13日(土)~2月28日(日)
10:00~17:00(入館は16時30分まで、最終日は16時まで)
会期中休館日:1月25日(月)、2月1日(月)、15日(月)、22日(月)、24日(水)

(3)会 場:モン ミュゼ沼津 (沼津市庄司美術館)
沼津市本字下一丁田900-1 TEL (055)952-8711 FAX (055)964-1538

(4)観 覧 料:大人200円、小人(小中学生)100円(※ただし市内の小中学生は無料)

2 特徴

沼津市では、本市ゆかりの国際的版画家 山口源の業績を顕彰するため、山口源賞を創設し、国内版画界で優れた業績を認められた版画家に贈呈しています。沼津市山口源新人賞は日本版画協会展の出品作品から将来性の認められる1作品に毎年贈られ、作品は沼津市庄司美術館に収蔵されます。今回の企画展では、美術館開館20周年を記念して、過去の受賞作品(大賞、新人賞)をすべて展示します。是非ご覧ください。

3 「山口源顕彰事業 版画ワークショップ作品展」を同時開催

本年度に開催した山口源顕彰事業 版画ワークショップの作品展を同時開催します。版画ワークショップは、山口源新人賞受賞経験者を講師に迎え開催しており、芸術を志す若い世代に、本格的な版画技法を体験してもらう機会として好評を得ています。

※静岡県立沼津西高等学校1年、加藤学園暁秀中・高等学校、一般公募参加者の作品を展示します。

山口源賞大賞新人賞受賞作品展 前期

木版・シルクスクリーン・その他

2021年1月23日(土)～2月7日(日)

沼津市は、国内の優秀な版画家に「山口源大賞」と「山口源新人賞」を贈っている。「山口源賞」設立の経緯は、民間よりの1000万円の寄附をもとに、更に1000万円を加え、「沼津市芸術文化振興基金」を設置し、この基金の果実を生かし市制60周年を記念して「山口源賞」を設けることとなり、今日に至っている。「大賞」は2年に一度、選考委員会を設け選考し、「新人賞」は山口源が所属していた日本版画協会の協力を得て毎年選考している。

前期作品一覧

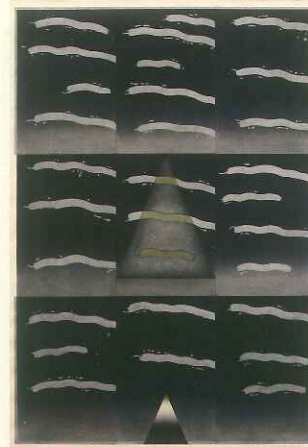
山口源賞大賞

- 第1回(1983) 黒崎 彰 「黒の軌跡」 木版画
第3回(1987) 吉田 穂高 「サンミゲル旧一番通り」木版画、亜鉛凸版
第5回(1991) 日和崎 尊夫 「KALPA'89 REQUIEM」木口木版画
第6回(1993) 野田 哲也 「日記 1992年2月17日」シルクスクリーン、木版
第8回(1997) 加納 光於 「《Circle-波打つ眉をしずめよ》No.5」モノタイプ
第11回(2003) 磯見 輝夫 「渚・初めに、・・・」凹版、木版画
第13回(2007) 小林 敬生 「白い朝又は早暁-塔05・03C-」木口木版
第15回(2011) 巖 嘸 「Rainbow men&woman B
-peace sign to Yoko&john-'09」
シルクスクリーン
第17回(2015) 天野 純治 「field of water #013055」
シルクスクリーン、ステンスル

山口源賞新人賞

- 第2回(1984) 柿崎 兆 「Falla Nana!」木版画
第4回(1986) 大沢 秀直 「セレモニー I・II」木版画
第6回(1988) 古谷 博子 「concerto」木版画
第7回(1989) 須永 高広 「風土記(うたわれない歌) I」木版画
第9回(1991) 中村 桂子 「balance(4)」孔木シルク版
第10回(1992) 菱田 俊子 「ガラスのコップ(4)」シルクスクリーン
第11回(1993) 種田 瑞樹 「F.U. K93-1」シルクスクリーン
第13回(1995) ひろはた ゆうこ 「花のかおるところに」板目木版画
第14回(1996) 原 陽子 「反射する道」凹版、凸版
第15回(1997) 小川 淳子 「水流」木口木版画
第16回(1998) 大下 百華 「大きな流れにのって」木版画
第17回(1999) 廣澤 仁 「ソフト・マシーン」シルクスクリーン
第18回(2000) 斉藤 里香 「dialogue with 9.80m/s²」木版画
第19回(2001) 尾田 美樹 「夜さりの斜面」木版画、銅版画
第20回(2002) 桂川 成美 「white squares」木版画
第22回(2004) 二階 武宏 「triple chain hoile」木版画

- 第24回(2006) 鈴木 隆太 「テープの残りあるか?今日のトップで使うぞ。」
木版・シルクスクリーン
第26回(2008) 瀧 将仁 「Figure'080101」水性木版画
遠藤 美香 「起床」水性木版、つけ墨
第27回(2009) 武藤智佳子 「ぜったいにとけない魔法-2」木版画
第29回(2011) ツツミ アスカ 「In the forest #02」
木版拓刷りを主としたミクストメディア
第30回(2012) 瀧本友里子 「Generator」水性木版画
第32回(2014) 中村 美穂 「ある晴れた日の夜」水性木版
濱田 路子 「WFH」水性木版に手彩
第33回(2015) 中村 花絵 「平凡な日常の断片 IV」シルクスクリーン
第34回(2016) 神山 千晶 「秘密の庭」水性木版画
第36回(2018) 木村 美咲 「夜を歩く」木版画
第37回(2019) 野田 千晴 「皮膚呼吸」木版画



第1回(1983)山口源賞大賞
黒崎 彰 「黒の軌跡」木版画



第1回(1983)山口源賞新人賞
日向野桂子 「長い夢」色彩銅版画

山口源賞大賞新人賞受賞作品展 後期

銅板・リトグラフ

2021年2月13日(土)～2月28日(日)

沼津市は、国内の優秀な版画家に「山口源大賞」と「山口源新人賞」を贈っている。「山口源賞」設立の経緯は、民間よりの1000万円の寄附をもとに、更に1000万円を加え、「沼津市芸術文化振興基金」を設置し、この基金の果実を生かし市制60周年を記念して「山口源賞」を設けることとなり、今日に至っている。「大賞」は2年に一度、選考委員会を設け選考し、「新人賞」は山口源が所属していた日本版画協会の協力を得て毎年選考している。

後期作品一覧

山口源賞大賞

- 第2回(1985) 中林 忠良「転位83-地-Ⅲ」 銅版画
- 第4回(1989) 吉原 英雄「二つの地平B」 リトグラフ
- 第7回(1995) 井田 照一「Sazare(A)-No.1」銅版画
- 第9回(1999) 李 禹煥「照応98-3」リトグラフ、銅版画
- 第10回(2001) 柳澤 紀子「水邊の庭 V」銅版画、手彩色
- 第12回(2005) 池田 良二「円環する焰」銅版画
- 第14回(2009) 星野美智子「記憶する薔薇Ⅳ 探索の旅」
リトグラフ(ウォーターレス技法)
- 第16回(2013) 深澤 幸雄「僕の心を覗く僕」銅版画

山口源賞新人賞

- 第1回(1983) 日向野桂子「長い夢」色彩銅版画
- 第3回(1985) 近藤 憲昭「Ziggurat」リトグラフ
- 第5回(1987) 遠藤 竜太「変位の過程V(均衡)」リトグラフ
- 第8回(1990) 中込 洋子「都市の記憶89-VI・90-I」銅版画
- 第10回(1992) 鈴木 金造「脱皮」銅版画
- 第11回(1993) 戸嶋 由香「through」銅版画
- 第12回(1994) 石山 直司「TROUBLESOME HERITAGE II」銅版画
田島 佳代「ASANTE」リトグラフ
- 第13回(1995) 寺島 徹「dejavu I」銅版画
- 第14回(1996) 伊達木明人「世紀末のソドム」銅版画
- 第15回(1997) 辻 元子「リズム」リトグラフ
- 第16回(1998) 宮崎 文子「Woman II」リトグラフ
- 第17回(1999) 鈴木 良治「流転」リトグラフ
- 第18回(2000) 花沢真由美「Radiant」銅版画
- 第19回(2001) 安田里栄子「The Color Scheme in Chaos」リトグラフ
- 第20回(2002) 佐野 秀二「キレル富士山」リトグラフ

- 第21回(2003) 宮井 麻奈「ひょうひょう」リトグラフ
山下真美子「時の記憶」銅版画
- 第22回(2004) 小越 朋子「澱人」リトグラフ
- 第23回(2005) 佐藤 美穂「止らない胸の痛みⅡ～湿地帯～」銅版画
鶴巻 貴子「one life, one day」銅版画
- 第24回(2006) 小竹 美雪「子供の遊び“舞遊”4」銅版画
- 第25回(2007) 結城 泰介「In my Life 2」銅版画
三田村直美「ポークスープ」銅版画
- 第27回(2009) 寺田 一行「HARUVISION # 1」銅版画
- 第28回(2010) 山田 彩加「森羅万象へ捧げる祈り」リトグラフ
右田 啓子「彼女のための最後の儀式」リトグラフ
- 第29回(2011) 山田 彩加「手向けられた花をも、命と共に」リトグラフ
- 第30回(2012) 西村沙由里「山越え」銅版画
- 第31回(2013) 小林 麻美「お茶会」リトグラフ
中村 真理「Communicate」リトグラフ
- 第33回(2015) 呉 窮「Noah's Boat」リトグラフ、アルミ板
- 第34回(2016) 田中 唯子「限りない空間」銅版画
- 第35回(2017) 櫻井 萌香「REM sheep」銅版画



monmusee
モノミュージゼ沼津

沼津市庄司美術館
観覧料 大人200円 小人100円
(市内の小中学生無料)

〒410-0863 沼津市本字下一丁田900-1
TEL055-952-8711 FAX055-964-1538
<http://monmusee.sakura.ne.jp>
e-mail monmusee@feel.ocn.ne.jp

